

## 第 44 回全国豊かな海づくり大会基本計画骨子【暫定版】策定に向けた

## 「御放流魚」及び「お手渡し魚」の選定について

## 1. 御放流魚とは

- ・「御放流魚」は、海上歓迎・放流行事会場において、天皇皇后両陛下自ら御放流される稚魚等であり、種苗生産または確保が行われている2種類の魚種が選定されています。
- ・近年の大会では、陸上に設置した放流台の樋へバケツで流し入れて御放流されており、御放流に合わせ招待者も同じ魚種を放流しています。

## 2. お手渡し魚とは

- ・「お手渡し魚」は、式典行事会場において、両陛下からお手渡しされ、後日、海上歓迎・放流行事会場とは別の場所で放流する稚魚等です。
- ・近年の大会では、式典行事会場のステージ上で専用容器等に入れた稚魚等を漁業関係者へお手渡しされることが多く、魚種は、その地域に生息する海水魚や淡水魚、甲殻類、藻類など様々であり、2から4種類が選定されています。

## 3. 本県における御放流・お手渡し魚種選定の考え方

先催県の状況を参考に選定基準として「必須事項」と「勘案すべき事項」を設定し、選定します。

## (1) 必須事項

- ① 本県の海面及び内水面に生息している在来種であること
- ② 種苗の生産・放流技術が確立している、または種苗の確保が可能であること
- ③ 大会の開催時期に適当な大きさであること

## (2) 勘案すべき事項

- ① 豊かな海づくりに向けた意識の高揚に繋がること
- ② 本県の水産業振興に重要な魚種であること
- ③ 三重県らしい魚種であること
- ④ 本県水産業の発展を歴史的に担ってきた魚種であること
- ⑤ 本県の栽培漁業対象種、又は資源管理型漁業の対象種であること
- ⑥ その他、大会の基本理念及び基本方針に照らし適当であること

## (3) 御放流・お手渡し魚の種類数

先催県の状況を参考に種類数を以下のとおりとします。

- ① 御放流魚 : 2種類
- ② お手渡し魚 : 2~4種類

4. 本県の種苗対象種一覧

※は、県栽培漁業基本計画対象種

魚種名	写真	R3放流数 (千尾)	R3漁獲量 (t)	特徴
マダイ ※		540	202	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢湾から熊野灘にかけて沿岸域に広く分布する。</li> <li>・ピーク時に170万尾が放流されるなど、重要な栽培漁業対象種である。</li> </ul>
ヒラメ ※		76	106	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢湾から熊野灘にかけて刺網や小型底びき網などで漁獲される。</li> <li>・昭和 62 年から種苗生産が開始された。</li> </ul>
トラフグ ※		219	139 (フグ類)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢湾口周辺で漁獲が多く、釣り、小型底びき網等で漁獲される。</li> <li>・種苗放流や操業規制などの資源管理、ブランド化に取り組んでいる。</li> </ul>
マハタ		257 (生産数)	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「幻の高級魚」とも呼ばれ、県南部地域で養殖が行われている。</li> <li>・種苗生産量は全国シェアの 8 割を占めている。</li> </ul>
カサゴ ※		99	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥羽市以南において、はえ縄やかご漁にて漁獲される。</li> <li>・定着性が高く、高い放流効果が期待されている。</li> </ul>
アワビ ※		488	22 (アワビ類)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥羽から熊野灘海域の岩礁域に生息し、海女(海士)漁で漁獲される。</li> <li>・海女の数は全国一(約 660 人)であり、県を代表する水産物である。</li> </ul>
ハマグリ		800	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢湾の主要な二枚貝であり、特に桑名産は古くから全国に地名が知られている。</li> <li>・稚貝放流や自主的な漁獲量規制が実施されている。</li> </ul>
アサリ		—	195 (アサリ類)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に伊勢湾内で漁獲される。</li> <li>・漁場保全や資源保護の取組が進められている。</li> </ul>
クルマエビ ※		2,208	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢湾からの矢湾沖が主な漁場となっている。</li> <li>・昭和 56 年から種苗生産が開始されている。</li> </ul>

イセエビ		2	176	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥羽市以南の岩礁域に生息し、主に刺網漁で漁獲される。</li> <li>・全国2位の漁獲量(令和3年)を誇るなど、県を代表する水産物である。</li> </ul>
クロノリ		—	140 百万枚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊勢湾各地において養殖が行われており、伊勢湾を代表する漁業の一つとなっている。</li> <li>・栄養塩類の減少等による養殖生産の低下が深刻となっている。</li> </ul>
ヒトエグサ (アオサ)		—	341 (バラノリ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内各地の沿岸域で養殖が行われている。</li> <li>・全国一の生産量を誇り、養殖風景は本県の風物詩となっている。</li> </ul>
アコヤガイ		—	2.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英虞湾を中心に養殖業が発達し、発祥の地として名声を高めてきた。</li> <li>・伊勢志摩地域では、養殖から加工・販売に至る産業が発達している。</li> </ul>
アユ		15t	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の河川に広く分布している。</li> <li>・友釣りの対象魚として内水面の最重要魚種となっており、種苗放流が行われている。</li> </ul>

5. 先催県における「御放流魚」及び「お手渡し魚」

※下線は内水面魚種

大会	開催年	開催県	御放流魚		お手渡し魚			
第4回	S59	三重県	マダイ	イサキ	イセエビ	アワビ		
第34回	H26	奈良県	<u>ダム湖産</u> <u>アユ</u>	<u>アマゴ</u>	<u>アユ(海産)</u>	<u>フナ</u>		
第35回	H27	富山県	ヒラメ	キジハタ	クロダイ	アワビ	<u>サクラマス</u>	アマモ
第36回	H28	山形県	ヒラメ	クロダイ	ヒラメ	アワビ	<u>サクラマス</u>	イワナ
第37回	H29	福岡県	トラフグ	マダイ	クロアワビ	クロノリ	アサリ	<u>オイカワ</u>
第38回	H30	高知県	イサキ	イシダイ	<u>アマゴ</u>	<u>ニホンウナギ</u>	カジメ	アサリ
第39回	R1	秋田県	マダイ	トラフグ	ハタハタ	<u>サクラマス</u>	エゾアワビ	ワカメ
第40回	R3	宮城県	ヒラメ	ホシガレイ	<u>イワナ</u>	マガキ	エゾアワビ	クロノリ
第41回	R4	兵庫県	マダイ	ヒラメ	マダイ	キジハタ	クロノリ	<u>アユ</u>
第42回	R5	北海道	マツカワ	ホッカイエビ	ホタテガイ	マガキ	エゾバフウニ	マナマコ
第43回	R6	大分県	マコガレイ	マダイ	イサキ	カジメ	キジハタ	アサリ